66 防犯体制整備事業 担当課 交通防犯課

事業概要及び今後の方向性

防犯体制整備事業は、自主防犯団体と連携し子どもの見守り活動、防犯活動を行うとともに、青色回転 灯車による防犯パトロールを実施するものです。

今後も、引き続き自主防犯団体について加入を促進します。

	指標		現状	値(平成30年	度)	目標値(令和6年度)			
自主防犯団体登録数	ζ			182団体 198団体(全自						
	目標値の根拠				全自治会が自主防犯団体へ加入し、活動することを 目標とします。					
令和2年度目標	票値	和2年度実績値		令和2年	度進捗	率	評価			
190団体		182団体		95.	. 8%		A			
実施予定内容		の考え方》団体数につい 》・4~5月にかけ、既	治会あて申	請書を送付し、						
実施内容	の働きかけを実施	ナ、既存の自主队 値しました。 合和3年3月号に								
マ体 / 14 体			2	^{令和2年度}						
予算/決算 	予算額 970 千円 決算額 767, 98						767, 980 円			
67 防犯システム										

事業概要及び今後の方向性

防犯システム設置事業は、街頭防犯カメラの適正な維持管理及び新規の街頭防犯カメラの設置を検討するものです。

通学路における街頭防犯カメラ設置予定は、令和元年度から令和4年度までの4年間で、市内22小学校及び義務教育学校1校の通学路(学校区)に、概ね2台ずつ(合計46台)設置していきます。

	指標		現状	直(平成30年度)	目標値((令和6年度)		
犯罪率(人口千人あ	たりの刑法犯罪詞	恩知件数)		10. 2件				
	目標値の根拠		待機児童の解消を目標とします。					
令和2年度目標	票値 令和	和2年度実績値		令和2年度進捗	歩率	評価		
8.5件		7.1件		A				
実施予定内容	少することを踏まえ算出	しました。		いては、8.5(平成30年:10.2) 台)の清掃点検作業を依頼し、				
実施内容	・昨年選定した14箇	所に通学路における 路における街頭防狐	も街頭防 ロカメラ	実施しました。(49台) 犯カメラを設置しました。 設置場所を選定しました。		台)		
7 / 1 / 1			숙	ì和2年度				
予算/決算 	予算額	2, 458	千円	決算額		2,090,000 円		

| 68 | うごく子ども110番 | 担当課 | 学校総務課

事業概要及び今後の方向性

うごく子ども110番は、児童・生徒の安全な登下校を確保することを目的とし、関係機関の公用車などに「うごく子ども110番」のステッカーを貼ることで、子どもたちの不測の事態に備え、緊急の連絡や避難できる場所を確保するものです。

今後も、引き続き関係機関や協力団体と連携し、「うごく子ども110番」活動の認識を高めます。

					·				
	指標		現状値	直(平成30年度)	目標値	(令和6年度)			
	_			_		_			
	目標値の根拠				_				
令和 2 年度目標	票値 令利	和2年度実績値		令和2年度近	Ě 捗率	評価			
_		_		_		_			
実施予定内容	番」のステッカーを	購入し、関係機関や	協力団体	5110番」活動の認識を 本の車両に貼り、活動 事業の推進を図りま	の推進、啓発に				
実施内容	うごく子ども1 の更新を行いまし			し、劣化している‡ 8枚	協力団体の車	両のステッカー			
7 /≒ /			令	和2年度					
予算/決算 	予算額	66	66 千円 決算額 63,0						
69 学校警察連絡	各協議会				担当課	指導課			
		車 楽 堀 西 ひょく	ム仏の	一一件					

事業概要及び今後の方向性

学校警察連絡協議会は、子どもを犯罪の被害から守るため、情報交換・共通理解など、関係機関との連携を図るものです。

今後も、引き続き関係機関や地域、学校が連携の強化を図り、充実に努めます。

	指標		現物	犬値	(平成30年度)	9人 30 を図るため、会の内容の充実、周知 とを目標とします。			
講演会参加人数					169人	~ ┃ ☑図るため、会の内容の充実、周矢			
	目標値の根拠		地域、保護者、学校の連携強化を図るため、会の内容の充実、周知報に努め年間20人ほど増やすことを目標とします。						
令和2年度目標	票値 令和2年度実績値 令和2年度進捗率						評価		
200人		0人			0%				
実施予定内容									
実施内容									
7 Mr / 14 Mr				令和	12年度				
予算/決算	予算額	114	千円	ž	夬算額	図るため、会の内容の充実、周知を目標とします。	726, 000		

70 防犯教室・防犯研修会 事業概要及び今後の方向性

防犯教室・防犯研修会、非行防止教室は、児童生徒が犯罪の被害に遭わないようにするため実施するものです。

今後も、外部講師を招いて実施するなど、各学校の工夫により内容の充実を図ります。

	指標		現状	値(平成30年原	き) 目標値	(令和6年度	.)
防犯教室・防犯研修	会または非行防」	上教室の実施		37校全校で	実施	34校全校で	実施
	目標値の根拠		引き続き市内小中学校・義務教育学校34校全校 実施を目標とします。 年度実績値 令和2年度進捗率 評価				の
令和2年度目標	票値 令	和2年度実績値		令和2年度	度進捗率	評価	
34校		34校		100	%	A	
実施予定内容	各校の実態に尿 小・中・義務教育			師を招き、防犯教 ます。	室や非行防止	教室等を市内	全
実施内容				師を招いたり、動 養務教育学校にお			教
マケ/油ケ				令和2年度			
予算/決算 	予算額	_	千円	決算額		_	円
71 非行防止パト	ール				担当課	こども政策	課
		事業概要及び	今後(の方向性 カカウル		·	

事業概要及び今後の方向性

非行防止パトロールは、年間を通した非行防止パトロールを各地区の補導会・育成会等に委託して実施するものです。

今後も、各地区の実状に合わせて、パトロール活動の充実を図ります。

	指標	1,070回 1,10 2値の根拠 これまでの実績から現状値を維持していくことを目標とします。 令和2年度実績値 令和2年度進捗率 評価 378回 34.40% B 5内8地区の補導会・育成会等と委託契約を行います。 ゼニロナウイルス感染拡大防止のため、パトロール活動を各地域の状況に合わせ中止または自粛しながら実施しました。					
パトロールの実施回	数			1,070回		1,100回	
	目標値の根拠						
令和2年度目標	票値 令和	和2年度実績値		令和2年度進排	步率	評価	
1,100回		378回					
実施予定内容	市内8地区の補	導会・育成会等	と委託	契約を行います。			
実施内容		目粛しながら実施				況に合わせ	
7 / h / h			令	和2年度			
予算/決算	予算額	838	千円	決算額		766, 435 円	

1分別体制の強化・	地 ッ 女 全	店期の推進					
72 防犯パトロー	ール				担当課	社会教育課	
I		事業概要及び	今後の	 方向性	<u> </u>		
る、犯罪抑止活動を	:行うもの	『学校・義務教育学校の P)です。 義務教育学校の P T A で実					
	指標	Į	現状値	恒(平成30年度)	目標値	[(令和6年度)	
				_		_	
	目標値の	根拠					
令和2年度目標	票値	令和2年度実績値		令和2年度進捗	上率	評価	
<u> </u>		_		_		_	
実施予定内容	市内小中	『学校及び義務教育学校 P	ТΑの	活動を支援します。			
市内小中学校及び義務教育学校PTAが実施する防犯パトロール活動における自転車 実施内容 等に貼るステッカー配布を行うなどの活動を支援することにより、子ども達の安心・ 安全を守るための取り組みを進めました。							
又 笆 / 油 笆			令	和2年度			
予算/決算 	予算	算額 —	千円	決算額		一 円	
73 こどもかけこ	 こみ110習	长			担当課	社会教育課	
•		事業概要及び	今後の	方向性			
た際に、駆け込んで	*助けを求: 地域や関	店舗や一般家庭などにプロ はめることができる場を確 引係機関、協力団体と連携	保する	ものです。 こどもかけこみ110番	香」活動 <i>0</i>	の継続を支援しま	
	指標		块 次 1₫	恒(平成30年度)		[(令和6年度)	
プレート設置か所数	(1, 243か所		1,245か所	
	目標値の	根拠	_ ,	体で子どもたちの安 、現状維持を目標と		る場を確保でき 	
令和2年度目標	票値	令和2年度実績値		令和2年度進捗	上 率	評価	
1,188か所		1,152か所		97.0%		A	
実施予定内容		▲連合会の活動を支援する 基携を支援する。	ととも	に、市PTA連合会	と地域や	関係機関、協力	
実施内容		♪けこみ110番の家プレー ⊉域に子ども達が助けを求					
マケ/カケ			令	和2年度			
予算/決算		# ##	~ m	** *** ***			

予算額

千円

決算額

円

74 通学路における街頭防犯カメラ設置事業 担当課 交通防犯課 事業概要及び今後の方向性

交通防犯課、春日部警察署及び教育委員会と通学路合同点検を実施し、危険箇所の抽出を行いました。 また、防犯カメラの維持管理・更新経費、画像抽出作業、本事業の継続性等を踏まえ、市内22小学校及び 義務教育学校1校の通学路(学校区)に、概ね2台ずつ(合計46台)設置していきます。

	指標			現	状值	(平成30年度)	目標値(令和6年度)
通学路における街頭	防犯カメラ	対数			0台		467	
	目標値のホ				交の通学路(学校区 ことを目標とします		合計46台)設	
令和2年度目標	標値	112年度実績値		評価				
16台	16台 (令和2年度目標値) 14か所16台			100%				A
	《令和2年度》 《令和2年度の 令和2年度は、	目標値設定の 実績予定 通学路に	の考え方》令和2年度か) 14か所16台の街頭防犯カ	メラを	:設置	かけて、平均的に設置する予する予定です。	定から算出しまし	た。
実施内容	令和3年度	度の設置場所(13か所13台)の選定を行う予定です。 度の設置場所(13か所13台)の選定を行う予定です。 定した14箇所に通学路における街頭防犯カメラを設置しました。(14箇所16台) 年度の通学路における街頭防犯カメラ設置場所を選定しました。(13箇所) 年度の設置場所を選定する予定です。						
マ笛/油笛					令和	和2年度		
予算/決算 	予算?	額	14, 745	千円	7	決算額		13, 124, 426 円

①みんなで支える次世代の親づくり

75 地域とのふれあい 担当課 保育課 事業概要及び今後の方向性

地域とのふれあいは、保育所(園)において、園庭を開放することにより、地域の子どもや親たちに、 他の子どもとのふれあいを通し、子育て支援を実施するものです。また、地域の人を対象に講演会を開催 するものです。

今後も、引き続きあらゆる機会を活用して、地域との連携を図ります。

	指標	Į		現	度、20人程度の参加人数を増やすことを目標です。 令和2年度進捗率 評価 31.4% B 「園では園庭開放や保育施設等地域活動事業に変と実施します。 ス感染拡大防止のため、中止しました。)、457人 令和2年度 決算額 一 担当課 指導課	<u>:</u>)					
参加人数						10,885人 11,20人程度の参加人数を増やすことを目標	11, 0	00人			
	目標値の	根拠		毎年度、20人程度の参加人数を増やすことを目標とします。							논
令和2年度目標	票値			令和]2年度進	步率		評価			
11,000人									В		
実施予定内容	公立保育所では地域交流会、民間保育園では園庭開放や保育施設等地域活動 る地域の子育て家庭への育児講座などを実施します。							事業に	よ		
実施内容			(新型コロナウ 事業への参加人				方止のため	、中止し	ました。)	
→ htt: />↓ htt:					令和	02年度					
予算/決算 										円	
76 中学生社会体	本験チャ	レンジ	事業					担当課	指	達課	
•			事業概要及	び今後	のナ	向性					

事業概要及び今後の方向性

中学生社会体験チャレンジ事業は、市内中学1年生(義務教育学校後期課程1年生を含む)を対象に、望ましい職業観や勤労観を育て、社会性や自立心を養うため、市内事業所において3日間の社会体験活動を行うものです。

今後も、受入れ事業所と連携し、生徒一人ひとりが目的を達成できるよう、事業の充実に努めます。

	指標		現状	値(平成30年度)	目標値(令和6年度)		
市内全中学校・義務	教育学校12校の	実施		13校	12校			
	目標値の根拠		引き続き市内中学校・義務教育学校12校全校での第 施を目標とします。					
令和2年度目標	票値 수	和2年度実績値		令和2年度進掛	歩 率	評価		
12校		0校		0%		В		
実施予定内容	新型コロナウイ	ルス感染症拡大関	5止のた	こめ、今年度は実施し	ません。			
実施内容	実施なし							
マ 体 / 沖 体		_	ŕ	う和 2 年度				
予算/ 決 算	予算額	930	千円	決算額		0 円		

②確かな学力の向上

O 17E									
77	少人数指導						担当課	指導課	
	.1			事業概要及び	今後	の方向性	1		
です 今	•					とりに応じたきめ細た 一人ひとりの学力をF			
		指標			現状	<u> </u>	目標値	 [(令和6年度	<u> </u>
						<u>—</u>		_	
		 目標値の相	 艮拠				<u> </u>		
	令和 2 年度目標	票値	令 君	和 2 年度実績値		令和2年度進	 捗率	評価	
		X III	,-			——————————————————————————————————————		—	
ᢖ	実施予定内容	児童生徒の	の実態に	こ合わせた少人数	(指導	の実施します。			
	実施内容			合わせた少人数指 対課後等を使った		実施しました。 学習を実施しました。			
	マ笘/油笘					令和 2 年度			
	予算/決算	予算	額		千円	決算額		_	円
78	道徳教育						担当課	指導課	
				事業概要及び	今後	の方向性			
す。 現	在、市内の全小	中学校・ な心を育む	養務教育		や体にます。		しており、	今後も、児童	生
		指標			ります。	·値(平成30年度)	日標値	[(令和6年度	<u>:)</u>
						<u> </u>			
		目標値の材	艮拠				_		
	令和2年度目標	票値	令和	和2年度実績値		令和2年度進	捗率	評価	
				_		_		_	
身	実施予定内容	科書や道徳	教育資料	集「春日部の道徳」	などを	できるよう道徳推進教師を を活用した授業の充実をB と図り、作成します。		「内研修を実施し	、教
事	実施予定内容	科書や道徳 ・道徳教育 ・学校ご。	教育資料 資料集「 とに「特 部の道領	集「春日部の道徳」 春日部の道徳」の見 寺別の教科 道徳 恵」の見直し・作	などを L直しを J」の	と活用した授業の充実を図	ります。	で内研修を実施し	、教
第		科書や道徳 ・道徳教育 ・学校ご ・「春日音	教育資料 資料集「 とに「特 部の道領	集「春日部の道徳」 春日部の道徳」の見 寺別の教科 道徳 恵」の見直し・作	などをした。	ど活用した授業の充実を図 と図り、作成します。	ります。	で内研修を実施し	、教

予算/決算

予算額

2確/	かな学力の向上										
79	体育指導							担当課	指	導課	
				事業概要及び	今後	のた	万向性				
現	在、市内の全小	、中学校・	義務教育		のエ	夫改	・充実するものでで 達が進められてお 。		後も、児:	童生徒-	<u>.</u>
		指標			現北	犬値	(平成30年度)	目標信	直(令和	6 年度))
市の	体力向上推進委	委員会の実	施				市の開催回数3回			催回数 3	
		目標値の	根拠				:、市の体力向上扌 :を目標とします。	推進委員会	会を年間	3 回開作	崔
	令和2年度目標	標値	令和	02年度実績値			令和2年度進	捗率		評価	
	34校			34校			100%			A	
美	《施予定内容	び改善を述 ・「春日部 を図ります	生め、体育 『市体力向 一。	の授業の充実を図り 上推進委員会」を年	ます。 3回実	。 尾施 し	「体力向上推進委員会市としての課題把握	と解決のた	めの協議、	、情報の	共有
	実施内容	組を実施・書面に	しました。 よる春日		委員会	会を争	実態把握及び学校の 実施。課題把握と解				
	予算/決算] 2 年度				
		予算	1額	_	千円		決算額		_		円
80	総合的な学習	習の時間						担当課	指	導課	
				事業概要及び	今後	のた	万向性				
るこ 現	とができる児童 在、市内の全小	堂生徒を育 ト中学校・	成するも 義務教育	っのです。	·画の		「る学習活動を展開 [しなど、授業の]				
		指標			現北	大値	(平成30年度)	目標信	直(令和	6年度))
							_				
		目標値の	根拠								
	令和2年度目標	摽値	令和	12年度実績値			令和2年度進	捗率		評価	
	_			_			_			_	
実	淫施予定内容	通して、	課題解決	そ能力の育成を図	りま	す。	上・環境、国際理解 気を工夫して計画的				を
	実施内容				た総	合的	├画に沿って、福祉 カな学習を実施しる		委・国際	理解・均	也
	·			· _		令 和	12年度	·			

千円

決算額

円

③各:	分野の連携によ	る豊かな	心身の育	 「成						
81	学校評議員制	度						担当課		指導課
	1			事業概要及び	今後	きの方	 f向性			
現	在、市内の全小	中学校・	義務教育	也域の連携を深め	· 、 —	一体と	なって学校教育を			
		指標	Į		現	状値	(平成30年度)	目標値	<u></u> (令和6年度)
		_					_			_
		目標値の	根拠					_		
	令和2年度目標	票値	令	和2年度実績値			令和2年度進	捗率		評価
				_			_			_
5	実施予定内容 学校運営に関し、学校・家庭・地域の連携を深めるため、市内全小・中・義務教育学校それぞれに学校評議員を配置し、学校評議員会を実施します。									
	・市内小・中学校に学校評議員を置き、学校評議員会を実施しました。 ・小学校1校、義務教育学校において、学校評議員にかわる学校運営協議会委員を配置 し、学校運営協議会を実施しました。									
予算/決算 - 7 202] 2 年度			
		予算	算額	895	千円	,	決算額 ——————			725, 762 円
82	就学時健康診	诊断						担当課		指導課
学に	ついての指導を	行うもの)です。	事業概要及び 心身の状況を把握 らと、取り組みま	し、		バロ1生 は上の必要な助言を	ご行うとと	: 5	に、適正な就
		指標	!		現	状値	(平成30年度)	目標値	<u> </u>	令和6年度)
		_					_			_
		目標値の	根拠							
	令和2年度目標	票値	令	和2年度実績値			令和2年度進	捗率		評価
				_			_			_
5	実施予定内容	します。					よは11月に就学予定 建康診断を実施しる		二健	康診断を実施
	実施内容					らいて	そたは11月に就学う 「健康診断の実施し		やに	健康診断の実
	予算/決算]2年度			
	」 开 / ハ 开	予算	草額	1,697	千円]]	決算額			1,391,572 円

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

③各分野の連携による豊かな心身の育成

実施内容

予算/決算

予算額

83	スポーツ少年団事業				担当課	スポーツ推進課						
事業概要及び今後の方向性												
ポー	スポーツ少年団事業は、スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てることを目的としている、スポーツ少年団組織を支援するものです。 今後も、スポーツ少年団組織の支援を継続し、現状の団員数の維持を目指します。											
	指標	Į	現状	直(平成30年度)	目標値	直(令和6年度)						
登録	団員数			2,098人		1,800人						
	目標値の	根拠										
令和2年度目標值 令和2年度実績値				令和2年度進捗率								
	令和2年度目標値	令和2年度実績値		令和2年度進捷	步率	評価						
	令和 2 年度目標値 1,910人	令和2年度実績値 1,768人		令和2年度進持 92.6%	步率							

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式は中止したが、232人を表彰しました。 ・各団において運動適性テストを実施しました。 ・スポ少種目別大会(2大会)、市民体育祭種目別大会(4大会)

千円

1,677

令和2年度

決算額

1,677,000 円

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

④地域ぐるみの教育力の向上

実施予定内容

実施内容

予算/決算

実施地区:8地区

予算額

《令和2年度目標値の考え方》 市内全8地区での実施を目標

ほとんどの事業を中止しました。 ・幼児期 11事業 のべ48回 727人 ・小学生期・中学生期 1事業 のべ1回 7人

215

84 家庭教育学級 担当課 中央公民館 事業概要及び今後の方向性 家庭教育学級は、各公民館において、幼児期・小学生期・中学生期のそれぞれの保護者などを対象とし た講座を実施するものです。 今後も、参加者のニーズを把握しながら、親子のより良い関係を築けるよう事業を進めます。 指標 現状値(平成30年度) 目標値(令和6年度) 実施地区数 8地区 8地区 引き続き、市内8地区で充実した事業を実施すること 目標値の根拠 を目標とします 令和2年度目標値 令和2年度実績値 令和2年度進捗率 評価 8地区 8地区 100% A

7つの地区で幼児から中学生期までの家庭教育学級を計画したが、新型コロナウイルス感染防止のため、

令和2年度

決算額

130,000 円

千円

⑤子どもの健全育成と未来を担う人財育成の推進

青少年健全育成条例普及啓発活動 担当課 こども政策課 事業概要及び今後の方向性 青少年健全育成条例普及啓発活動は、埼玉県青少年健全育成条例及び、春日部市青少年健全育成基本条 例の普及、啓発を行うものです。 今後も、普及、啓発活動を継続します。 現状値(平成30年度) 目標値(令和6年度) 指標 目標値の根拠 令和2年度目標值 令和2年度実績値 令和2年度進捗率 評価 青少年育成春日部市民会議や青少年育成推進員協議会とともに、市及び県条例の普 実施予定内容 及・啓発活動を行います。 青少年育成春日部市民会議や青少年育成推進員協議会とともに、市及び県条例の普 実施内容 及・啓発活動を行いました。 令和2年度 予算/決算 予算額 千円 決算額 円 86 |青少年育成春日部市民会議の支援 担当課 こども政策課 事業概要及び今後の方向性 青少年育成春日部市民会議が、関係機関・団体と連携し実施している、環境浄化活動、家庭教育活動、 青少年体験活動などを支援するものです。 今後も、組織の周知に力を入れるとともに、各団体が連携できる事業の実施を促します。 指標 現状値(平成30年度) 目標値(令和6年度) 青少年育成春日部市民会議の会員数 99人 117人 これまでの実績から、毎年3人ずつ増やすことを目 目標値の根拠 標とします 令和2年度目標值 令和2年度実績値 令和2年度進捗率 評価 105人 88人 83.80% 補助金の交付を行います。 実施予定内容 ・読み聞かせ公演会、講演会、非行防止キャンペーン、青少年の地域活動の推進、 「家庭の日」啓発事業等、市民会議事業の支援を行います。 ・補助金の交付を行いました。 ・読み聞かせ公演会、講演会、非行防止キャンペーン、青少年の地域活動の推進、 実施内容 「家庭の日」普及・啓発事業等、市民会議事業の支援を行いました。 令和2年度

864

千円

決算額

864,000 円

予算/決算

予算額

⑤子どもの健全育成と未来を担う人財育成の推進

87 青少年育成推進員の支援

事業概要及び今後の方向性

こども政策課

担当課

青少年育成推進員の支援は、青少年に望ましい地域環境を作ることを目的として、市長が委嘱した「青 少年育成推進員」の活動を支援するものです。

今後も、委嘱配置目標を下回ることがないよう助言していくとともに、各推進員が問題なく活動できるよう支援します。

指標	Į.	現	状値(平成30年度)	目標値(令和6年度)	
青少年育成推進員の人数			46人		46人	
目標値の根拠			1 小学校区あたり 2 人の推進員の配置を維持することを目標とします。			
令和2年度目標値 令和2年度実績値			令和2年度進捗率 評価			
46人	46人		100.00%		A	

実施予定内容

- ・補助金の交付を行います。
- ・学校訪問、家庭の日普及活動、視察研修、三市合同研修会等、青少年育成 推進員協議会の事業及び青少年育成推進員の地区活動の支援を行います。

実施内容

- ・補助金の交付を行いました。
- ・学校訪問、家庭の日普及・啓発活動、青少年育成推進員協議会の事業及び青少年育 成推進員の地区活動の支援を行いました。

 予算/決算
 予算額
 262
 千円
 決算額

88 青少年相談員の支援

担当課

こども政策課

242,708円

事業概要及び今後の方向性

青少年相談員の支援は、青少年のリーダーとして、埼玉県知事から委嘱されて、野外活動など青少年の体験活動の機会の提供を行っている「青少年相談員」の活動を支援するものです。 今後も、市民周知に力を入れるとともに、活動を支援します。

	指標		現状値	道(平成30年度)	目標値((令和6年度)			
青少年相談員の人数				3)		6人			
目標値の根拠				令和2年度、令和4年度、令和6年度の委嘱時に1人ず つ増やすことを目標とします。					
令和2年度目標	票値 令	和2年度実績値		令和2年度進	捗率	評価			
4人		4人		100.00%	A				
実施予定内容	・補助金の交付る ・収穫体験、青生 支援を行いまっ	少年育成市民会議	をへの協	力活動等、青少年村	目談員協議会	の活動の			
実施内容		・補助金の交付を行いました。 ・青少年相談員協議会の活動の支援を行いました。							
マケ/			令	和2年度	とします。 - 度進捗率 - 評価				
予算/決算 	予算額	380	千円	決算額		130, 528 円			

予算/決算

予算額

⑤子どもの健全育局	戊と未来を	担う人財育成の推進						
89 年少リーダ	一研修会				担当課	中央公民館		
		事業概要及び	1 1					
さまざまな体験 [.] 少年リーダーを育 [.]		強く、たくましく生きる	力を持つ	つきっかけとしても	らい、地	域で活動する青		
	指標	!	現状値	(平成30年度)	目標値	〔(令和6年度)		
事後研修を含めた	延べ参加者	数		378人		400人		
	目標値の	根拠		実した内容で子ども ことを目標とします		成し、参加者を		
令和2年度目	令和2年度目標值 令和2年度実績値				進捗率 評価			
参加人数400	0人	参加人数67人		16.80%		В		
実施予定内容	リーダーとしての資質を高めるための体験学習 実施予定内容 各地区で行われるイベント運営のスタッフとしてボランティア参加 自分たちで子ども向けのイベントを企画・運営							
新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は宿泊を伴う野外活動事業は中止し、市 実施内容 内での活動を中心としました。様々な体験をさせるとともに、自分たちで年少の子ど もたち向けの事業も企画しました。								
		,	令和	和2年度				
了异/ 次异	予算	章額 63,492	千円	決算額		0 円		
90 未来を育む	奨学金(未来を担う人財育成事	業)		担当課	学務課		
•		事業概要及び	今後の	方向性	· · ·			
)分野は問わず、児童生徒 奨学金を交付します。		から思い描いている (平成30年度)	_	い、実現したい 		
事業提案提出件数	אן חנ			16件		30件		
尹未 ル采[正山] 十数			毎年度1	10件 .0%ずつ提案件数を				
	目標値の		ず。					
令和2年度目	標値	令和2年度実績値		令和2年度進	歩率	評価		
20件 実施予定内容	対して、当	22件 服紙及びホームページへの掲載 奨学金を交付します。 までに採用された提案事業の取						
・広報かすかべ4月号、12月号に事業内容を掲載し、周知を行いました。また、事業のチラシを市内小・中・義務教育学校に配布し、公式ツイッターやホームページでも告知を行いました。令和2年度は22件の応募があり、審査を通過した2件の新規事業と、昨年度から継続している4件の事業と合わせて6件の提案事業に奨学金を交付しました。 ・提案事業の取組み状況についてホームページに掲載し、事業を周知しました。								
		令和 2 年度						

千円

決算額

4,531

973,000 円

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-2 生きる力を育む教育環境の整備

⑤子どもの健全育成と未来を担う人財育成の推進

91	英語検定料助	対成 (未来を担	う人財育成事業	担当課	学務課				
			事業概要及び	今後の	方向性				
	中学校3年生(義務教育学校後期課程3年生)を対象に英語検定料を助成し、学習意欲の向上と英語力の強化を図るものです。								
	指標 現状値(平成30年度) 目標値(令和6年度)								
英語	英語検定料助成の申請者数 475人 1,080人								
		目標値の根拠		対象生徒標として	走数(約1,800人)の ます。	り6割に厚	助成することを目		
	令和2年度目標	票値 令	和2年度実績値	令和2年度進捗率 評価					
	900人		644人		71.60%	В			
	・市内公立中学校等、または市内に住所を有し、私立中学校等に在籍する中学3年生を対象に公益財団 実施予定内容 法人 日本英語検定協会が実施する英語検定の3級団体検定料を助成します。 ・市内公立中・義務教育学校を準会場とすることで受験しやすい環境を整えます。								
	・中学3年生を対象に、公立中・義務教育学校に在籍する627名の生徒と、市内に住所を有し在 実施内容 第する私立中学校等で団体受験をした17名の生徒に、3級団体受験料を上限に英語検定料の助成 を行いました。								
	マダ/沈ダ			令	和2年度				
	予算/決算	予算額	7, 106	千円	決算額		2,406,300円		

①子どもの居場所づくりの推進

92 学習を目的とした児童への場所の提供

担当課

市民参加推進課

事業概要及び今後の方向性

学習を目的とした児童への場所の提供は、地域において児童が安全に過ごすことができる週末などの居場所づくりを推進するため、学習を目的とした場所の提供を行うものです。

今後も、ハーモニー春日部の情報ライブラリーにおいて学習を目的とした席を提供し、子どもの居場所を作ります。

	指標				目標値(令和6年度)
情報ライブラリー年間利用者数				3,386人		4,000人
目標値の根拠				自日数の増加により、利 ンます。	用者を増や	すことを目標
令和2年度目標	票値	令和2年度実績値		令和2年度進挑	評価	
4,000人		0人		Ο%		В
・ハーモニー春日部の情報ライ 実施予定内容 ながるポスター掲示等を実施し ※指定管理者制度による管理・			利月	月者数の増加を図る。		
実施内容	• 新型=	コロナウイルス感染拡大防	i止 <i>0</i>	つ為、令和2年度は利用で	を中止しまし	た。

93 子育てふれあい公園リニューアル事業

予算額

予算/決算

担当課

公園緑地課

46, 209, 825 円

事業概要及び今後の方向性

千円

46, 210

令和2年度

決算額

子育てふれあい公園リニューアル事業は、子どもから高齢者までの幅広い世代が一緒にふれあえるような公園の再整備を行うものです。

今後も、引き続き1~2か所/年程度の公園の再整備を目標にします。

		現物	犬値	(平成30年度)	目標値(令和6年度)		
再整備公園数					10か所		21か所	
目標値の根拠				毎年度2か所ずつ再整備することを目標とします。				
令和2年度目標值 令和2年度実績値					令和2年度進掛	歩率	評価	
13か所		12か所	92. 3%			A		
実施予定内容	《令和2年度目標設定の 面積・地区・時間など う公園を選出し、再整備 《令和2年度実施予定》 豊町第3公園	の各要件を満たした街区	[公園に	関し、	美化協定の締結状況、地域	からの要望などを	と踏まえ、再整備を行	
実施内容 豊町第3公園再整備工事 1箇所								
7 Mr / 14 Mr				令和	12年度			
予算/決算	予算額	22,000	千円	1	夬算額		21, 120, 000 円	

①子どもの居場所づくりの推進

|放課後子ども教室(令和6年度までの実施計画)

担当課

社会教育課

事業概要及び今後の方向性

放課後子ども教室は、すべての児童が放課後等を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動を行えるよ う、地域の方々の参画を得て実施するものです。

国の「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、全小学校区で実施し、事業の拡充を図ります。また、 放課後児童クラブとは、一体型としていきます。今後も、引き続き関係機関や関係部局で構成される運営 委員会を設置し、余裕教室の活用や、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の連携などについて検討を 行い、事業の充実を図っていきます。

	指標				目標値	(令和6年度)			
放課後こども教室の参加児童延べ人数				10,797人		12,000人			
目標値の根拠				これまでの実績に基づき、毎年度参加延べ人数を2 00人ずつ増やすことを目標とします。					
令和 2 年度目標	票値	令和2年度実績値		令和2年度進	捗 率	12,000 / 年度参加延べ人数を 2 とします。 評価 B			
11,213人		151人		1.3%	В				
実施予定内容					で実施する。 行うことにより、すべての児童が放課後等を安心・ を行えるように実施体制を強化する。				
実施内容	南小学校におい	いて放課後子ども教室 向け準備を進めました。	を4回簿	施しました。また、	牛島小学校及	び豊野小学校に			
マ体 / 14 体			令	和2年度					
予算/決算 	予算額	2, 417	千円	決算額		616, 146 円			
95 青少年地域活	95 青少年地域活動・ボランティア活動推進事業 担当課 社会教育課								

事業概要及び今後の方向性

青少年地域活動・ボランティア活動推進事業は、児童・生徒が地域活動やボランティア活動を行い、多様な体験や活動を行う機会を通じて、自立心、主体性、協調性を育むため実施するものです。 今後も、引き続き学校や地域等と連携を図りながら、児童生徒の活動を支援するとともに、人に喜ばれ

る活動やよい行いに対して各小中学校・義務教育学校が評価する表彰活動を推進していきます。

	指標				目標値(令和6年度)		
表彰状授与枚数				3,948枚		5,000枚		
目標値の根拠				事業周知を拡大することにより、最終年度までに3人に1人の 児童生徒に、表彰状を授与することを目標とします。				
令和2年度目標	令和2年度実績値		令和2年度進持	步率	評価			
4,342枚		4,757枚		109.6%	A			
実施予定内容	・地域活動・	・行うことにより主体 ボランティア活動を 活動を推進するため	記録す	る「ボランティア手	帳」を配付			
実施内容	ボランティア	及び義務教育学校に地 手帳及び表彰状用紙を めに行う多様な体験活動	配布する	ることにより、児童・生	上徒が、自立の	心・主体性・協		
マ体 / 油体			수	和2年度				
予算/決算 	予算額	86	千円	決算額		172,716 円		

①子どもの居場所づくりの推進

96 子どもを対象とするスポーツ教室などの実施事業 担当課 スポーツ推進課

事業概要及び今後の方向性

子どもを対象とするスポーツ教室などの実施事業は、親の交流拠点、子どもの居場所・遊び場づくりの 観点から、子どもやその保護者が参加できる事業を計画し、実施するものです。

今後も、開催曜日や定員などを考慮し、子どもやその保護者が参加したいと思える教室、イベントなどの事業を計画することで、参加人数の増加を図り、更なるスポーツ・レクリエーションの振興に努めます。

	指標		現	犬値 (平成	30年度)	目標値(令和6年度)	
子どもが参加できるスポーツ教室などの参加者数					23,723人		25,000人	
目標値の根拠				毎年度200人ずつ増やすことを目標とします。				
令和2年度目標	票値 令	和2年度実績値		令	和2年度進捷	步率	評価	
24,200人		55人		0. 20%			В	
実施予定内容	親子スポーツ教室教室、健康づくり業	室、楽しくドッジ) のつどい、健康	ジボー	・ル教室、「ぱ・レクフェ	市民体育祭各 ェスタ、出前	·地区大会、 講座、学校	巡回スポーツ プール開放事	
実施内容	実施内容 出前講座 (放課後子ども教室) 他の事業は、新型コロナウイル:				のため、実施	を見合わせ	ました。	
マケ/				令和2年原	支		_	
予算/決算 	予算額	12,842	千円	決算額			59,940 円	

②地域の活動・交流拠点づくり

児童館運営事業 担当課 こども政策課 97

事業概要及び今後の方向性

児童館運営事業は、児童の健全育成を図るため、ボランティア・地域と連携しながら、多様な事業を展開 し、親の交流拠点、子どもの居場所・遊び場づくりとしての充実及び整備に努めます。 今後も、子育て支援施設の中心として、児童館3館それぞれの特色をいかした運営を進めます。

票値(令和6年度)
98.0%
(-

目標値の根拠

|最終年度までに、1ポイント向上させることを目標 とします。

令和 2 年度目標値	令和2年度実績値	令和2年度進捗率	評価
97.3%	96.00%	98.70%	A

ボランティア・地域と連携しながら子育て支援施設の中心として、児童館3館それぞ 実施予定内容 れの特色を活かした運営を進めます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用人数や利用時間に制限を設けながら、工夫を疑らした事業を実施しま ・春日部第1児童センター(エンゼル・ドーム):クリスマスコンサート、zoomを使用したwebママ会等 年間来館者 実施内容

30,368人

・春日部第2児童センター(グーかすかべ):県民の日特別イベント、グーかす横丁等 年間来館者15,227人 ・庄和児童センター(スマイルしょうわ):壁面製作、児童センターの先生になろう等 年間来館者15,502人

		令:	和2年度
予質/決質			
77 8 / 74 8			

ア昇/)界 予算額 210,508 千円 決算額 203, 828, 045 円

98 ハーモニーフェスタ

担当課

市民参加推進課

事業概要及び今後の方向性

ハーモニーフェスタは、ハーモニー春日部において、男女共同参画に関するワークショップの開催のほか 子育て支援や子ども主体のワークショップなど、多種多様な催しなどを年1回数日間にわたり開催するもの

今後も、より多くの参加者を得るため積極的に広報活動を実施します。

指標	Į	現	伏値	(平成30年度)	目標値(令和6年度)
参加者数				4,051人		5,000人
目標値の	根拠			かを拡大することに 悪とします。	より、参加	者を増やすこ
令和2年度目標値	令和2年度実績値			令和2年度進捗		評価
4,300人	295人			7%		В

実施予定内容

- ・6月の男女共同参画週間に合わせて開催します。・利用団体公開活動、市民企画ワークショップ、実行委員会企画、キッズプログラム、展示等を行って 男女共同参画に関する様々な情報を提供します。
- ※指定管理者制度による管理・運営のため予算額は年間の指定管理料を記入。

実施内容

- ・緊急事態宣言発出により準備作業が出来ず、11月に開催しました。
- ・開催内容を大幅に縮小して完全予約制で実施、安心安全な運営を行いました。

予算/決算

令和2年度

千円 46, 209, 825 円 予算額 決算額 46, 210

②地域の活動・交流拠点づくり

99 かすかべ郷土かるた大会 担当課 こども政策課
社会教育課

事業概要及び今後の方向性

かすかべ郷土かるた大会は、かすかべ郷土かるたを使用し、青少年の交流及び郷土に対する意識の高まりを図るものです。

今後も、地域や関係機関、協力団体と連携し、青少年の健全育成活動を支援しながら、大会の充実を図ります。

	指標		現状	値(平	成3	0年度)	目標	直(令和6年度)
参加者数						750)			768人
	目標値の根拠					こ努め、? とします	毎年度3	人 (1チーム)増
令和2年度目標	票値 令和	和2年度実績値			令和	2年度進	捗率		評価
756人		0人				0%			В
実施予定内容	・第28回かすか〜 ・市内小学校(拿 (出前講座)を写	養務教育学校前期				を対象に	、かすか	ンベ組	・ 郷土かるた学習
実施内容	新型コロナウイルス 禍における新たな取 対象に20校で実施し	り組みとして、絵材	しを拡大	てしたジュ	ィンオ	がるたを れ	5用した郷	土学	習を小学3年生を
→ / 1. / 1.				令和 2 年	F度				
予算/決算	予算額	80	千円	決算	額				0 円
99 かすかべ郷土	たかるた大会						担当課	,	こども政策課 社会教育課

事業概要及び今後の方向性

かすかべ郷土かるた大会は、かすかべ郷土かるたを使用し、青少年の交流及び郷土に対する意識の高まりを図るものです。

今後も、地域や関係機関、協力団体と連携し、青少年の健全育成活動を支援しながら、大会の充実を図ります。

	指標		現場	₹値(³	平成30年度)	目標値(令和6年度)			
参加者数					750人		768人			
	目標値の根拠		大会の広報周知に努め、毎年度3人(1チーム)やすことを目標とします。							
令和2年度目標	票値 イ	和2年度実績値			令和2年度進掛	歩率	評価			
756人		0人			0%	В				
実施予定内容		ベ郷土かるた大会 義務教育学校前期 実施します。				かすかべ組	郷土かるた学習			
中华中家	が、コロナ禍にお	型コロナウイルス感染拡大の影響により、第28回かすかべ郷土かるた大会を中止しました、コロナ禍における新たな取り組みとして、絵札を拡大したジャンボかるたを活用した銀習を小学3年生を対象に20校で実施したことにより、郷土に対する意識の向上に繋げるこできました								
→ / . + / . +				令和2	2年度					
予算/決算	予算額	80	千円	決	算額		0 円			

②地域の活動・交流拠点づくり

担当課 100 土器作り教室 文化財保護課 事業概要及び今後の方向性

土器作り教室は、親子参加の土器作り教室で製作過程を通じて、縄文時代の生活を体験すると同時に親子 のコミュニケーションを図るものです。 今後も、年1回の事業を継続することにより、親子が交流できる場を提供することを目標とします。

	指標	Į		現	犬値	(平成30	年度)	目標们	直(今	和6年度	()
実施回数						1回			1	口	
	目標値の	根拠			毎	年度1回実	施するこ	とを目れ	票とし)ます。	
令和2年度目標	票値	令和	和2年度実績値			令和2	年度進揚	率		評価	
1回			0回				0%			В	
実施予定内容			ジ作り、2日目に 羽との連携によ								
実施内容	新型コロ	1ナウイ/	レス感染拡大防」	上のた	:め事	手業を中止	しました	0			
7 / 1 / 1					令和]2年度					
予算/決算 	予算	算額	_	千円	j	決算額			_		円
101 体験講座(夏	夏季講座	も含む)						担当課	文	化財保護	課
			事業概要及(了今後	きのナ	7向性	•				

体験講座(夏季講座も含む)は、わらじやしめ縄作りなど、昔ながらのものを親子で一緒に製作して、共 通の体験の場を提供するものです。

今後も、引き続きさらに親子が参加しやすい状況に対応できるよう、講座内容を検討します。

	指標		現状値	直(平成3	O年度)	目標値((令和6年度)		
実施回数					4回		5	5回	
	目標値の根拠					たな分野を とを目標と	加えることに します。	-	
令和2年度目標	票値 令	和2年度実績値		令和	2年度進捗	率	評価		
4回		2回			В				
実施予定内容	《令和2年度の実施予定 けでなく親子参加で行い	の考え方》実施回数は他 》体験講座として、わら	じ編み・	子ども考古学教		作り・しめ縄作	りを4回、一般市民	:だ	
実施内容	・令和2年12月13日(日・体験講座(わらじ編	令和2年11月7日(土)体験講座(ミニぞうり作り) 令和2年12月13日(日)体験講座(しめ縄作り) 体験講座(わらじ編み教室)、子ども考古学講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。 その他 自由参加のワークショップを2回開催							
マケ/			<u>수</u>	和2年度					
予算/決算 	予算額	14	千円	決算額			0	円	

②地域の活動・交流拠点づくり 102 各種体験教室や学習講座の実施 担当課 中央公民館 事業概要及び今後の方向性 各種体験講座や学習講座の実施は、各公民館において、子どもたちの価値観の多様化に対応するため、さ まざまな体験活動や学習の機会を提供するものです。 今後も、事業内容やPR方法を工夫し、より社会性豊かな人間性を育むことができる体験活動や学習の機 会を提供します。 現状値(平成30年度) 指標 目標値(令和6年度) 実施か所数 16館 13館 最終年度までに、市内16館すべてで事業を実施する 目標値の根拠 とを目標とします 令和2年度目標值 令和2年度実績値 令和2年度進捗率 評価 16館 12館 75.80% В 季節や地域の実情に応じた様々な体験事業を実施します。 料理教室、科学教室、昆虫観察や星空観察、キッズフェスタ子ども会との共催事業、 実施予定内容 昔の遊び教室などの体験事業。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、工夫しながら武里東、幸松第二、藤塚、武里南地区を除く12 実施内容 季節に応じた、また地域のニーズや特色に合わせた事業展開を行いました 料理教室、科学教室、キッズフェスタ、子ども会との共催事業、蝶の観察会、星空観察など 令和2年度 予算/決算 千円 40,000 円 予算額 決算額 200 103 子どもの読書活動推進 担当課 社会教育課 事業概要及び今後の方向性 図書館は、地域における本や読書の専門機関であり、子どもの読書活動を推進するための運営を実施しま す。 指標 現状値(平成30年度) 目標値(令和6年度) 児童書貸出冊数 315,658⊞ 352,000冊 年間3,300冊(増加率1%)ずつ増やすことを目標と 目標値の根拠 します。 令和2年度目標値 令和2年度実績値 令和2年度進捗率 評価 55.70% 338,800⊞ 188, 561 ⊞ В ①児童書の充実・整備②読書環境の整備(児童展示コーナーの充実、中高生向けのコーナーの充実)③子どもとその保護者の図書館利用者を対象にしたアンケート調査④学校等との連携・協力(団体貸出、学校おはなし会、ブックトーク)⑤図書館を使った調べる学習コンクール(中央・武里・庄和各図書館)8月⑥子ども司書講座(中央・武里・庄和各図書館)8月予定⑦ぬいぐるみおとまり会(中央・武里・庄和各図書館)中央1月・庄和3月予定⑧夏休み読書マラソン(中央・武里・庄和各図書館)8月1日~8月31日⑨本の福袋(中央・武里・庄和各図書館)1月予定 実施予定内容 ①、②、④は通年実施しました。図書館3館では、③「子ども向け読書アンケート調査」を3月に、⑧「夏休み読書マラソン」を8月中に実施しました。⑤「春日部市図書館を使った調べる学習コンクール」は7~9月に実施し、地域コンクール優秀者1名が全国コンクールにおいて文部科学大臣賞を受賞しました。また、武里・庄和図書館では、⑥「子ども司書講座」を8月に、⑨「本の福袋」を3月に実施しました。なお、⑦「ぬいぐるみおとまり会」は、実施準備はしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見送りました。 実施内容 令和2年度

千円

決算額

円

予算/決算

予算額

基本目標3 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくり 3-3 心豊かに育つ場づくり

②地域の活動・交流拠点づくり

104	おはなし会						担当課	衬	上会教育課	
				事業概要及び	今後	の方向性				
	はなし会は、本 も、ボランティ				— У	ーテリングや絵本の読	み聞かせ	せを行	うものです	ナ。
		指標	Į		現	犬値(平成30年度)	目標信	直(令	和6年度))
		_				_		_	_	
		目標値の)根拠			_	_			
	令和2年度目標	票値	令和	112年度実績値		令和2年度進捗	歩 率		評価	
	_			_		_			_	
	E施予定内容	②夏休み親- 小さい子	大きい子 子おはなし会 (4歳から9歳	(小学生/中央・武里・E とその保護者/中央・武	生和 名里・庄	n 各図書館)毎週土曜日 Y図書館)第2・4土曜日 和 各図書館)夏休み期間中の毎 各図書館)夏休み期間中の第2・4년				
	実施内容	・再開後は	は参加人数		講じ	、図書館の利用制限に伴う6 ながら実施し、おはなしの ⁻ 図りました。				通
						令和2年度				
	予算/決算	予算	算額	_	千円	決算額		_		円

③世代を超えた交流の推進 105 三世代交流事業 担当課 高齢者支援課 事業概要及び今後の方向性 三世代交流事業は、春日部市いきいきクラブ連合会に委託して、地域ごとに高齢者と子ども、その親の 三世代が軽スポーツやゲームなどのさまざまな活動を通して交流を図るものです。また、いきいきクラブ 連合会の事業として、エンゼル・ドームなどに高齢者が訪問し、子どもたちと交流しながら子育て支援を 行うものです。 今後も、引き続き同様に実施します。 指標 現状値(平成30年度) 目標値(令和6年度) 参加人数 7,769人 11,600人 過去の実績を考慮し、参加者を増やすことを目標と 目標値の根拠 します 令和2年度目標值 令和2年度実績値 令和2年度進捗率 評価 11,600人 1,853人 16.00% В (令和元年度目標値) 11,600人 第7期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画による計画値 《令和元年度実施予定》 実施予定内容 ※取り取りた人を必認りたが、 春日部市いきいきクラブ連合会に委託して、各地域ごとに高齢者と子ども、その親の三世代が軽スポーツやゲームなどのさまざまな活動を通して交流を図ります。また、いきいきクラブ連合会の事業として、子どもたちと交流しながら子育て支援を行っ ていきます 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止するクラブが増加しまし た。また、エンゼル・ドームでのボランティア活動も中止となったため、参加人数が減少して います。実施したクラブは感染症対策を行い、屋外でできるラジオ体操等を実施して交流を図 実施内容 りました。 令和2年度 予算/決算 千円 720,000 円 予算額 1, 100 決算額 三世代交流スポーツフェスティバル 106 担当課 中央公民館 事業概要及び今後の方向性 地域に根ざしたスポーツの普及・促進及び市民の健康増進を図るとともに、三世代のきずなを深めま す。 指標 現状値(平成30年度) 目標値(令和6年度)

参加者数						450人		49	95人
	目標値の	根拠			終年度までに ミす。	、参加者を	10%増やす	ことを目標	と
令和2年度目標	票値	令和	口2年度実績値		令和]2年度進捷	歩率	評価	
470人			0人				В		
実施予定内容	スポーツ	ドネス大会 本育振興会	いて行うスポーツ 体力測定 推進委員所属団体			コーナー			
実施内容	実績なし	/(新型=	コロナウイルス』	感染抗	- 公大防止のた	め中止)			
マ 体 / 油 体		_			令和2年度	_		_	
予算/決算	予算	算額	_	千円	決算額		_	_	円

③世代を超えた交流の推進

| 107 | ふれあい大学における小学校連携事業 | 担当課 | 高齢者支援課 | 事業概要及び今後の方向性 | 本れあい大学における小学校連携事業は、ふれあい大学の講座の一環として、児童と高齢者との交流を図ることにより世代間の相互理解を深め、高齢者の豊かな知識と経験を伝承していく小学校連携講座を実施するものです。 | 今後も、交流を続け、互いの理解を深めていけるような事業を実施します。 | 日標値(会和6年度) | 日標度の | 日標面 (会和6年度) | 日標値(会和6年度) | 日本6年度 |

	指標			現	犬値	(平成 3	30年度)	目標値	(令和6年原	隻)
参加人数							367人			410人
	目標値の	根拠						(20人) 、 1 ~ : 目標とします。		、)、な
令和2年度目標	票値	令和	和2年度実績値			令和	12年度進	步率	評価	i .
328人	0人						В			
実施予定内容	《令和元年》	度実施予定》 学校、桜川小:	8人 ふれあい大学学生8 学校の1,2年生とふれま 日・11日に実施予定です	らい大学					回し・お手玉等	を行い
実施内容	新型コロ	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業は中止しました。								
→ 65 / N.L. 65					令和]2年度				
予算/決算	予算	車額	_	千円]	決算額			_	円

④つながりの輪づくり

108	地域交流会	担当課	保育課
	事業概要及び今後の方向性		

地域交流会は、公立保育所の施設を開放し、就学前の子どもと保護者に遊び場の提供と入所児童との交流を通して、子育てを応援するものです。

今後も、引き続き内容の見直しや変更などを行い、参加人数の増加に努めます。

	指標	Į		現状	値	(平成30年度)	目標値	三(令和64	年度)
参加人数						2,146人			2,400人
	目標値の	根拠		毎年月ます。		2%ずつ参加人数	を増やす	ことを目標	票とし
令和2年度目標	票値	令和	和2年度実績値			令和2年度進排	歩率	評	F 価
2,400人			0人			0%			В
実施予定内容			地域交流会、民間 家庭への育児講座			は園庭開放や保育 施します。	施設等地	地域活動事業	業によ
実施内容	公立保育	育所におり	ける地域交流会は	、新	型コ	ロナウイルス感染	拡大防山	このため未気	実施。
7 Mr / 1 Mr					令和	2年度			
▶ 予算/決算 	予算	算額	—	千円	Э	P. 算額		_	円
109 子育て意識啓	啓発ポス	ターな	どの掲示				担当課	市民参加	推進課
			事業概要及び	今後(の方	向性			

子育て意識啓発ポスターなどの掲示は、館内外の掲示物を利用し、虐待防止や父親の育児参加を促すポスターなどにより、子育て意識の啓発をするものです。

今後も、国や県などで作成した子育てなどの啓発ポスターを掲示し、より積極的に啓発活動を実施します。

指標				直(平成30年度)	目標値(令和6年度)
掲示回数			10回	1	12回	
目標値の根拠				などで作成した子育てな ることを目標とします。	どの啓発ポスク	ター掲示の実績を
令和2年度目標	票値 令和	和2年度実績値		令和2年度進持	步率	評価
10回		8回		80%		A
実施予定内容	ターなどを掲示し)ます。		ルに子育て意識の唇 め予算額は年間の指		
実施内容	・啓発のためのな	ポスター、チラシ	⁄、配布	物を含めて8回配架	しました。	
マ体 / 14 体			令	和2年度		
予算/決算	予算額	46, 210	千円	決算額		46, 209, 825 円

④つながりの輪づくり

生活支援課 110 子育てサロン 担当課 こども相談課 中央公民館

事業概要及び今後の方向性

子育てサロンは、あしすと春日部・武里市民センターや公民館などの公共施設において、子育て中の親 子が集う場で、簡単な遊びを通じて参加者の交流を図るものです。

今後も、引き続き事業の周知を図り、それぞれの特色をいかした事業展開を進めます。

	指標		現状	値(平成3	0年度)	目標値	(令和6年度)
実施回数(あしすと	春日部・武里市民	民センター)			24回		24[
					おいて、引き 標とします。		
令和2年度目標	票値	和2年度実績値		令和	2年度進捗	歩率	評価
24回		10回			41. 70%		В
実施予定内容	総合福祉センター武里市民センター			月1回 氰	計12回		
実施内容	・あしすと春日音 ・武里市民センタ (新型コロナウ		į	つため一部の	中止)		
マケ/ 油ケ			4	和2年度			
予算/決算 	予算額	_	千円	決算額		-	— F
110 子育てサロン		** *** 1m *** ** * * *				担当課	生活支援課 こども相談課 中央公民館

事業概要及び今後の方向性

子育てサロンは、あしすと春日部・武里市民センターや公民館などの公共施設において、子育て中の親 子が集う場で、簡単な遊びを通じて参加者の交流を図るものです。 今後も、引き続き事業の周知を図り、それぞれの特色をいかした事業展開を進めます。

	指標		現状	計値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
実施回数(あしすと春日部・武里市民センター)			24回			
目標値の根拠				すと春日部、武里市民セ ずつ開催していくことを		
令和2年度目標	票値 令和	和2年度実績値		令和2年度進持	步率	評価
24回		10回		41.70%		В
実施予定内容	師、家庭児童相談」	員等との相談によ	り、育	参加者の交流を図るとと 児不安やストレスの解れ ちらし等で周知を行いる	肖を図ります。	
実施内容		イルス感染症感染	と拡大	退市民センター 5回 防止のため、定員を設 。)	けて予約制	としました。
7 Mr / 14 Mr				令和2年度		
予算/決算 	予算額	107	千円	決算額		44, 400 円

④つながりの輪づくり

110		担当課	生活支援課 こども相談課 中央公民館
	市光师 		

事業概要及び今後の方向性

子育てサロンは、あしすと春日部・武里市民センターや公民館などの公共施設において、子育て中の親 子が集う場で、簡単な遊びを通じて参加者の交流を図るものです。

今後も、引き続き事業の周知を図り、それぞれの特色をいかした事業展開を進めます。

	指標	Į		現状	:値(平成3	0年度)	目標値	(令和	和6年度)
実施回数(公民館)						95回			95回
目標値の根拠					のとおり、 ³ 開していく。				内容で事業
令和2年度目標	票値	令和	和2年度実績値		令和	2年度進捗	序率		評価
95回			40回			42. 10%			В
実施予定内容			民の子育ての拠点 こ応じた開催回数			す。毎月1	回、また	_ は隔丿	月で行って
実施内容	施しまし	た。庄和地	. 豊春第二、幸松 地区は奇数月で年 予防のため、実施	6回、記	式里地区は年	5回実施の計	画を立て	たが、	参加新型コ
マ 体 / 14 体					令和2年度				
予算/決算 	予算	算額	117	千円	決算額				117,000 円
┃111 ┃赤ちゃんの馴	7						担当課	ے ک	ごも政策課

事業概要及び今後の方向性

赤ちゃんの駅は、乳幼児がいる保護者の子育てを支援する取組の一環として、外出中の親子が、授乳やおむつ替えが必要になったときに、気軽に立ち寄れるような場所を提供するため、公共施設や民間施設を登録しているものです。

今後も、引き続き制度や設置場所の周知を図り、民間施設の登録数の増加を促進します。

	指標		現場	と 値	(平成30年度)	目標値	(令和6年度))
登録施設数					72施設			施設
目標値の根拠				度 1	施設ずつ増やすこ	とを目標と	します。	
令和2年度目標	票値 令	和2年度実績値			令和2年度進捗	歩 率	評価	
75施設		78施設			102.70%		A	
実施予定内容		式ホームページ、 責極的な周知を図			NS等で、施設の	周知を図り	ます。	
実施内容	広報紙や市公式だ「赤ちゃんの駅」	ホームページ等で 登録施設数78施		的に	周知しました。			
マケ/ カケ				令和	2年度			
予算/決算	予算額	_	千円	ž	央算額		_	円

①新・放課後子ども総合プランの推進

| 一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室(令和6年度 | 担当課 | 保育課 | 社会教育課 | 本報要及び今後の方向性

一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室は、同一の小学校内等で両事業を実施し、共働き家庭等の児童を含めたすべての児童が放課後子ども教室の活動プログラムに参加できるものです。

本市ではすべての小学校(義務教育学校前期課程を含む)で一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室が実施されていることから、今後においては、実施回数の増加や各種活動プログラムの充実を図ることにより、安心・安全な居場所の確保を進めます。

ことにより、女心・	女生な店場別の	唯体を進めより。						
	指標		現状	:値(平成30억	F度)	目標値	 (令和 6 年度	Ē)
放課後子ども教室の 児童クラブ入室児童		数のうち放課後			21. 5%		2	24.0%
	目標値の根拠			後子ども教室の内 人の児童が参加す				4人
令和2年度目標	票値	和2年度実績値		令和2年	度進捗	率	評価	
21.9%		25.2%		11:	2.5%		A	
実施予定内容		室実行委員会への プログラムを実施			参加を値	足し、放課	- !後児童クラ	ブ
実施内容	放課後子ども教 者と情報共有を	室を実施した教室 図りました。	とでは、	、実行委員会に	おいてカ	汝課後児童	(クラブの担]当
マケ/				令和2年度				
予算/決算 	予算額	_	千円	決算額		-	_	円
113 一体型の放調 に達成される	₹後児童クラブ らべき目標事業	 及び放課後子と 量)	ビも教	效室(令和6年		担当課	保育課 社会教育	——
		事業概要及び	今後	の方向性				

一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室は、同一の小学校内等で両事業を実施し、共働き家庭 等の児童を含めたすべての児童が放課後子ども教室の活動プログラムに参加できるものです。

本市ではすべての小学校(義務教育学校前期課程を含む)で一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室が実施されていることから、今後においては、実施回数の増加や各種活動プログラムの充実を図ることにより、安心・安全な居場所の確保を進めます。

	指標			現	犬値	(平成30	年度)	目標値	(令和6年度)
放課後子ども教室の参加児童延べ人数のうち放課後 児童クラブ入室児童の割合						21.5%		24	4.0%	
	目標値の根拠					ども教室のP 児童が参加っ			冬年度までに 4 ます。	4人
令和2年度目標	標値	令和	12年度実績値			令和 2	年度進捗	摔	評価	
22. 4%			25. 2%			1	12.5%		A	
実施予定内容		後子ども	対室実行委員会に 対室の運営支援 図る。						今種活動プ	ロ
	共有を図り	、放課 ミした。	童クラブ支援員及(後児童クラブの入る (新型コロナウイ) 施)	室児園	置が方	女課後子ども	教室に参	加しやすい	環境を整える	準
マケ/ カケ					令和]2年度				
予算/決算	予算?	額	_	千円]	決算額			_	円

(]

予算/決算

予算額

①新・放課後子ども								
加課後児童グルス 115 よる実施に関	ァラブ及 関する具	び放課後体的な方	子ども教室の 策) —	本的な又に	は連携に	担当課	保育課 社会教育課
0.00000-100	4,, 0,,	11 43 0.73	<u>-に</u> 事業概要及び	今後	の方向性			
本市の放課後にないです。本市の放課後のでででででででででででででででできる。本のでは、本のでは、本のでは、大学をは、では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、	い ま も 製 に 関 後 に 関 後 に 関 後 に 関 後 に 関 後 に 関 を に 数 も し に 数 も し に も も し に も に る る に る る る る る る 。 る る る る る る る る る る る る る	図の実行委員 公要な意見る 図クラブ担当 日共有に努る	子ども教室は、 員会の委員とし を換を行う「春 当職員が参加し めるとともに、	本 な部積れ	型での実施 課後児童支 市放課後子 極的な情報 ぞれの事業	援員が参加 ども教室運 交換・情報 が行うプロ	している!! 営委員会」 共有に努& グラムのイ	まか、子ども教 の委員(関係 りています。 全画段階から相
	指標	Į		現も	犬値(平成 :	3 0 年度)	目標値	(令和6年度)
	_				_			_
	目標値の	根拠				_	_	
令和2年度目標	票値	令和	2年度実績値		令 和	口2年度進捗	歩率	評価
_			_			_		_
実施予定内容			自主事業として できるプログラ			ラブと放課	後子ども教	- 数室が一体と
実施内容			ども教室運営委 共有を行いまし		において、	放課後児童	クラブ担旨	当職員と積極的
マケ/カケ					令和2年度			
予算/決算 	予算	算額	_	千円	決算額			— F.
115 放課後児童グ よる実施に関			策			は連携に	担当課	保育課 社会教育課
		. ~ № L1 ⇒m /// =	事業概要及び		の方向性			
やすい環境になって また、各放課後子	います。	ひ奴誅後 、	Pと 外教室は		型 マカサナ	28 4 10 - 10	м т. 4. 4	4 a 2 to 201
室事業の運営方法等 行政職員)として放 引き続き、情報交 互に意見交換できる ような連携を進めま	に関し必 課後児童 類・情報 場を設け	図の実行委員 公要な意見及 図クラブ担当 日共有に努る	員会の委員とし 交換を行う「春 当職員が参加し かるとともに、	て 日	課後児童支 市放課後子 極的な情報 ぞれの事業	援員が参加 ども教室運 交換・情報 が行うプロ	している!! 営委員会」 共有に努る グラムの1	の委員(関係 めています。 と画段階から相
行政職員)として放 引き続き、情報交 互に意見交換できる	に関し必 課後児童 類・情報 場を設け	図の実行委員 必要な意見を 図クラブ担当 日共有に努め けるなど、 か	員会の委員とし 交換を行う「春 当職員が参加し かるとともに、	て日、そブ そがの	課後児童支 市放課後子 極的な情報 ぞれの事業	援員が参加 ども教室運 交換・情報 が行うめ、両	している。 営委員会」 共有に努& グラムの① 事業の児童	まか、子ども教 の委員(関係 りています。 と画段階から相
行政職員)として放 引き続き、情報交 互に意見交換できる	に関し必 課後児童 換・情報 場を設け す。	図の実行委員 必要な意見を 図クラブ担当 日共有に努め けるなど、 か	員会の委員とし 交換を行う「春 当職員が参加し かるとともに、	て日、そブ そがの	課後児童支 市放課後子 極的な情報 ぞれの事業 指定管理者	援員が参加 ども教室運 交換・情報 が行うめ、両	している。 営委員会」 共有に努& グラムの① 事業の児童	まか、子ども教 の委員(関係 かています。 全画段階から相 意が交流できる
行政職員)として放 引き続き、情報交 互に意見交換できる ような連携を進めま	に関しいません。 はいまでは、 はいまではい	図の実行委員 必要な意見 を は り は は け る な と い る な き う う で と う う で と う う に と る と う る と う く ら く ら く ら く ら く ら く ら く ら く ら く ら く	員会の委員とし 交換を行う「春 当職員が参加し かるとともに、 対課後児童クラ	て日、そブ そがの	課後児童支 市放課後子 極的な情報 ぞれの事業 指定管理者	援員が参加 ども教室運 交換・情報 が行うめ、両	している。 営委員会」 共有に努& グラムの① 事業の児童	まか、子ども教 の委員(関係 かています。 全画段階から相 意が交流できる
行政職員)として放 引き続き、情報交 互に意見交換できる ような連携を進めま	に関しいません。 はいまでは、 はいまではい	図の実行委員 必要な意見 を は り は は け る な と い る な き う う で と う う で と う う に と る と う る と う く ら く ら く ら く ら く ら く ら く ら く ら く ら く	員会の委員とし 交換を行う「春 当職員が参加し かるとともに、	て日、そブ そがの	課後児童支 市放は課後 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	援員が参加 ども教室運 交換・情報 が行うめ、両	している 営委員会 共有に努る グランの児童 目標値 	まか、子ども教 の委員(関係 かています。 全画段階から相 意が交流できる
行政職員)として放 引き続き、情報交 互に意見交換できる ような連携を進めま	に関しいません。 はいまでは、 はいまではい	図の実行委員 必要な意見 を は り は は け る な と い る な き う う で い き い き い き い さ い さ い さ い さ い さ い さ い ら い ら い ら い ら	員会の委員とし 交換を行う「春 当職員が参加し かるとともに、 対課後児童クラ	て日、そブ そがの	課後児童支 市放は課後 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	援員が参加 ども教・情マ 交換・プラン が行うめ、両 る 0 年度)	している 営委員会 共有に努る グランの児童 目標値 	まか、子ども教 の委員(関係 りています。 企画段階から相 置が交流できる (令和6年度)
行政職員)として放 引き続き、情報交 互に意見交換できる ような連携を進めま	に 課後・を 指値 を を を を を を を を	医の実な見る に要すって を要うすにど、 根拠 令和 をそうづ をそうづ	員会の委員と「 と と と と り き き き き き き き き き き き き き き き	て日、そブ 現 れ お実進 い施を	課市極ぞ指 児課なの管 (平成一 情るる。	援員も換・うめ 年度) 1 2 年度進 ・ 情 り は よ よ よ よ ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	し は は は は は は は は は は は は は	まか、子ども教 のの委員(関係) かていとと かでできる (令和6年度) 一 評価 一 数室と放課後
行政職員)として放 引き続き、情報交 互に意見交換できる ような連携を進めま 令和2年度目標	に 課 換 場 を ・ ・ ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を ・ を も の の の の の の の の の の の の の	を を は で と で で と で で と で で と で で と で で と で か ま し た が ま し た が ま し た が ま し た が ま し た が ま し た が ま し た が ま し た が ま し か ま し た が ま し か ま し ま し	会会の委員と「加と 会を員とを関して 会を員とを関して を関いて をののでで ののでででででででででででででででででででででできまでででででである。 でいてをでしてできまででできまででできまででできまででできます。 でいてをでしていてものできまでできます。 でいてものできまでは、 でいてものでは、 で	て日、そブ 現れ お実進 童イル が施を ラン	課市極ぞ指 (現まなの管 (現まなの管 (現まなの管 (中間では、でするで、でするで、でするで、でいるで、でするでです。です。です。でするです。でするです。でするでは、でするでは、できないできないでは、できないできないでは、できないできないでは、できないできないでは、できないでは、できないできないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないでは、できないではないでは、できないでは、できないでは、できないでは、では、ではないでは、では、できないでは、では、ではないでは、ではないでは、では、ではないでは、ではないでは、できないでは、できないでは	援ど交がも 員も換行含 30年度) 12年 情り とによう 本ような 相響るような 相関を は、のような は、のような は、のような は、のような は、のような は、のような は、のような は、のような は、のような	し営共グ事 に は は は は は は は は は は は は は	まか、子ども教 の委員(関係 りています。 と画段階から相 をが交流できる

千円

決算額

円

116 小学校の余裕 への活用に関)放課後児童クラブ及 S的な方策	なびか	女課後子ども教室	担当課	保育課 社会教育課
•		事業概要及び	今後	の方向性		
室等) を、児童の放 各学校の余裕教室	(課後等の安 等の使用計 余裕教室等	E間以内に普通教室とし で心・安全な居場所や活 計画等について、地域の をについても、関係者間 きを進めます。	動場 実状	所として確保するもの に応じ関係者も交えた	です。 協議を進め	るとともに、
	指標		現状	(祖(平成30年度)	目標値(令和6年度)
	_			_		_
	目標値の根	拠		_	_	
令和 2 年度目標	票値	令和2年度実績値		令和 2 年度進捌	率	評価
_		_		_		_
実施予定内容		重クラブと放課後子ども 幸員会を通して活動場所			ムを充実さ [、]	せるととも
実施内容		ーウイルス感染拡大の影 で密集を回避する方策を	取り	ました。	室の実施場	所を体育館や
予算/決算				令和2年度		
3 317 6731	予算額	預 	千円	決算額	_	- 円
	•					
116 小学校の余裕 への活用に関					担当課	保育課 社会教育課
IIDI					担当課	
への活用に関 児童数の減少によ 室等) を、児童の放 各学校の余裕教室	関する具体 り今後5年 誤後等の使用計 余裕教室等	本的な方策 事業概要及び 事業概要及び 手間以内に普通教室とし で心・安全な居場所や活 計画等について、地域の ほこついても、関係者間	今後 て使。 動場) 実状	の方向性 用されることがないと 所として確保するもの に応じ関係者も交えた	考えられる。 です。 協議を進め	社会教育課 教室(余裕教 るとともに、
「児童数の減少によ というでは、 「ないではない。 「ないではない。 「ないではない。 「ないではない。」 「ないではない。」 「ないではない。」 「ないではない。」 「ないではないではない。」 「ないではないではない。」 「ないではないではないではない。」 「ないではないではないではないではない。」 「ないではないではないではないではないではないではないではない。」 「ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	関する具体 り今後5年 誤後等の使用計 余裕教室等	本的な方策 事業概要及び 事業概要及び 手間以内に普通教室とし で心・安全な居場所や活 計画等について、地域の ほこついても、関係者間	今後 て動場 実の理	の方向性 用されることがないと 所として確保するもの に応じ関係者も交えた	考えられる。 です。 協議を進め、 児童クラブ。	社会教育課 教室(余裕教 るとともに、
「児童数の減少によ というでは、 「ないではない。 「ないではない。 「ないではない。 「ないではない。」 「ないではない。」 「ないではない。」 「ないではない。」 「ないではないではない。」 「ないではないではない。」 「ないではないではないではない。」 「ないではないではないではないではない。」 「ないではないではないではないではないではないではないではない。」 「ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	リする具体 り今後5年 課後等の使用 余裕教室 前けた協議	本的な方策 事業概要及び 事業概要及び 手間以内に普通教室とし で心・安全な居場所や活 計画等について、地域の ほこついても、関係者間	今後 て動場 実の理	の方向性 用されることがないと 所として確保するもの に応じ関係者も交えた 解を深めつつ、放課後	考えられる。 です。 協議を進め、 児童クラブ。	社会教育課 教室(余裕教 るとともに、 及び放課後子
110 への活用に関 児童数の減少によ 室等)を、児童の放 各学校の余裕教室 既に活用されている ども教室への利用に	リする具体 り今後5年 課後等の使用 余裕教室 前けた協議	本的な方策 事業概要及び 事業概要及び 手間以内に普通教室とし で心・安全な居場所や活 計画等について、地域の がについても、関係者間 を進めます。	今後 て動場 実の理	の方向性 用されることがないと 所として確保するもの に応じ関係者も交えた 解を深めつつ、放課後	考えられる。 です。 協議を進め、 児童クラブ。	社会教育課 教室(余裕教 るとともに、 及び放課後子
110 への活用に関 児童数の減少によ 室等)を、児童の放 各学校の余裕教室 既に活用されている ども教室への利用に	関する具体 り今後5年 (3等のの は (3等のの (3等のの (3等のの (4ので) (4ので) (5 で) (5	本的な方策 事業概要及び 事業概要及び 手間以内に普通教室とし で心・安全な居場所や活 計画等について、地域の がについても、関係者間 を進めます。	今後 て動場 実の理	の方向性 用されることがないと 所として確保するもの に応じ関係者も交えた 解を深めつつ、放課後	考えられる。 です。 協議を進め 児童クラブ。	社会教育課 教室(余裕教 るとともに、 及び放課後子
116 への活用に関 児童数の減少によ 室等)を、児童の放 各学校の余裕教室 既に活用されている ども教室への利用に	関する具体 り今後5年 (3等のの は (3等のの (3等のの (3等のの (4ので) (4ので) (5 で) (5	本的な方策 事業概要及び 手間以内に普通教室とし で心・安全な居場所や活 計画等について、地域の についても、関係者間 を進めます。	今後 て動場 実の理	の方向性 用されることがないと 所として確保するもの に応じ関係者も交えた 解を深めつつ、放課後 は (平成30年度)	考えられる。 です。 協議を進め 児童クラブ。	社会教育課 教室(余裕教 るとともに、 及び放課後子 令和6年度)
116 への活用に関 児童数の減少によ 室等)を、児童の放 各学校の余裕教室 既に活用されている ども教室への利用に	する具体 り課等会的 (1) の (2) の (3) の (3) の (4)	本的な方策 事業概要及び 手間以内に普通教室とし で心・安全な居場所や活 計画等について、地域の についても、関係者間 を進めます。	今後 て動実の 現状 グラ	の方向性 用されることがないと 所として確保するもの に応じ関係者も交えた 解を深めつつ、放課後 は (平成30年度) 令和2年度進物 ムや参加人数に合わせ	考えられる。 おまかま 協議クラブ 目標値(- 海	社会教育課 教室(余裕教 るとともに、 及び放課後子 令和6年度) 一 評価 一 特別教室や
「児童数の減少によ 室等)を、児童の 各学校の余裕教室 既に活用されての利用に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	する 具体 り課等余向 り課等余向 おけ 指	本的な方策 事業概要及び 事業概要及び に間以内に普通教室としていい。 安全な居場所域の 特についても、関係者間を進めます。 「関係を進めます。 ・「のでは、関係を進めます。 ・「でも教室は、活動プロー	今後 て動実の 現 グ、 的教 ラ児 に室	の方向性 用されることがないといるといるでは保するでは保護者を深めつつ、放課後 な値(平成30年度) 一 令和2年度進捗 ムや参加人数に合わ活動で実施する準備を進めままます。	考えられる。 考で議立の 目標値(「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	社会教育課 教室(余裕教 るとともに、 及び放課後子 令和6年度) 一 評価 一 特別教室やする。 体育館、校庭
110 への活用に関 児童数の減少によ 室等)を、児童教の 名学校の余名で 各学校の和の利用に を 令和2年度目標 一 実施予定内容	する 具体 り課等余向 り課等余向 おけ 指	本的な方策 事業概要及び 事業概要及び 「問以内に普通教室としる において、関係を定いても、 は、一次を進めます。 「関連を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	今後 て動実の 現状 グ、 的教放 ラ児 に室課	の方向性 用されることがないといるといるでは保するでは保護者を深めつつ、放課後 な値(平成30年度) 一 令和2年度進捗 ムや参加人数に合わ活動で実施する準備を進めままます。	考えられる。 考で議立の 目標値(「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	社会教育課 教室(余裕教 るとともに、 及び放課後子 令和6年度) 一 評価 一 特別教室やする。 体育館、校庭

北部纵旧辛上	. – – T	ッパナル 三田 ぐ	タフ じょ 歩声で	\ 	ナノー <i>は、</i> フ 88 <i>は</i> か7 88	1	m -k-am
117 放課後児童ク の具体的な選				美加	施に係る関係部門	担当課	保育課 社会教育課
1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7			事業概要及び	今後	の方向性		
事業の実施状況や課 各事業の運営方法	!題などに :や施設整	こついて、 MGMの方針	定期的な協議の †などについて適	場を 宜、	子ども教室を所管する 設けるものです。 協議・調整を行うとと 把握と課題の解決に努	もに、総合	
	指標	l		現状	(平成30年度)	目標値(令和6年度)
	_				_		_
	目標値の	根拠				_	
令和 2 年度目標	票値	令和	和2年度実績値		令和2年度進排	步率	評価
_			_				_
実施予定内容					する放課後子ども教室 と課題解決に努める。	運営委員会	において、活
実施内容	放課後子	∸ども教≦	を運営委員会にお		、関係機関と情報共有	を行いまし	た。
予算/決算					令和 2 年度		
1 11 / //	予算	章額		千円	決算額	_	- 円
				1 1 3	17 171 HA		
117 放課後児童ク の具体的な退			策	実施	地に係る関係部門	担当課	保育課 社 会教育課
				実施	地に係る関係部門	担当課	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	連携に関 を所管す 題などに や施設整	する方 つる市長音 こつい方金 送備の方金	策 事業概要及び 『局と、学校や放 定期的な協議の †などについて適	今後 課場を	めに係る関係部門 の方向性 子ども教室を所管する	教育委員会もに、総合めます。	社会教育課 との間で、両 教育会議など
か 具体的な 通 放課後児童クラブ 事業の実施状況や課 各事業の運営方法	連携に関 を所管す 題などに や施設整	する方 一る市長音 こつの方金 が開し、 に 所し、	策 事業概要及び 『局と、学校や放 定期的な協議の †などについて適	今後 課後を 課場 に報の	地に係る関係部門 の方向性 子ども教室を所管する 設けるものです。 協議・調整を行うとと	教育委員会もに、総合めます。	社会教育課 との間で、両
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	連携に関 を所管する 題なご整 で施会を活 機会を活	する方 一る市長音 こつの方金 が開し、 に 所し、	策 事業概要及び 『局と、学校や放 定期的な協議の †などについて適	今後 課後を 課場 に報の	でに係る関係部門 の方向性 子ども教室を所管する 設けるものです。 協議・調整を行うとと 把握と課題の解決に努	教育委員会もに、総合めます。	社会教育課 との間で、両 教育会議など
か具体的な道 放課後児童クラブ 事業の実施状況や課 各事業の運営方法 の協議・意見交換の	連携に関 を所管する 題なご整 で施会を活 機会を活	する方 たる市長さいの方を備のし、 を備のし、 で	策 事業概要及び 『局と、学校や放 定期的な協議の †などについて適	今後 課後を 課場 に報の	でに係る関係部門 の方向性 子ども教室を所管する 設けるものです。 協議・調整を行うとと 把握と課題の解決に努	教育委員会もに、総合めます。	社会教育課 との間で、両 教育会議など
が課後児童クラブ 放課後児童クラブ 事業の実施状況や課 各事業の運営方法 の協議・意見交換の	連携に関 を所管すに整な施設整機会を活 指標 目標値の	する方 る市長されるから、 高市いの方。 高市の大きに対象情用し、 は 根拠	策 事業概要及び 『局と、学校や放 定期的な協議の †などについて適	今後 課後を 課場 に報の	でに係る関係部門 の方向性 子ども教室を所管する 設けるものです。 協議・調整を行うとと 把握と課題の解決に努	教育委員会 もに、総合 めます。 目標値(社会教育課 との間で、両 教育会議など
が課後児童クラブ 放課後児童クラブ 事業の実施状況や課 各事業の運営方法 の協議・意見交換の	連携に関 を所管すに整な施設整機会を活 指標 目標値の	する方 る市長されるから、 高市いの方。 高市の大きに対象情用し、 は 根拠	策 事業概要及び 『局と、学校や放 定期的な協議の 計などについて適 可事業における情	今後 課後を 課場 に報の	でに係る関係部門 の方向性 子ども教室を所管する 設けるものです。 協議・調整を行うとと 把握と課題の解決に努	教育委員会 もに、総合 めます。 目標値(社会教育課 との間で、両 教育会議など 令和6年度) 一
か具体的な道 放課後児童クラブ 事業の実施状況や課 各事業の運営方法 の協議・意見交換の	連携に関 をあなた。機会を指している。 目標値の関値 ・放課後 	する方 一るつけの 長さいのも 長さいのも を行用し そう そう そう そう を行用し そう そう もも もも もも もも もも もも もも もも もも もも もも もも もも	策 事業概要及び 『局と、学校や放 定期的な協議で 計などにおける情 「事業における情 「中ででする」	実施の実施を表する。	でに係る関係部門 の方向性 子ども教室を所管する 設けるものです。 協議・調整を行うとと 把握と課題の解決に努	教育委員会 もに、総合 めます。 目標値(一 歩率	社会教育課 との間で、両教育会議など 令和6年度) 一 評価 室と放課後
か課後児童クラブ 放課後児童クラブ 事業の実施状況や課 各事業の運営方法 の協議・意見交換の 令和2年度目標	連携 を題や機 指 値 ・ コ催 ・ コ催 ・ コ	する 方 まこと 市いのし 長で大きで 根拠 令 もの いでより に決し とブ お後子 もの いでより	乗事業概要及び 事業概要及び 『局と、学校や放 におりないでは おっている情 「中でではない。」 「中でではない。 「中でではないるない。 「中でではない。 「中でではない。 「中でではないないない。 「中でではないない。 「中でではないない。 「中でではないないない。 「中でではないないない。 「中でではないない。 「中でではないないない。 「中でではないない。 「中でではないない。 「中でではないない。) 字後	でに係る関係部門 の方向性 子ども教室を所管する 設議・調整を行うとと と課題の解決に努 です。 なる 0 年度) 一 令和 2 年度進 することにより、放課	教育委員会 ものます。 目標値(一 歩率 後運営の充実 たが、令和	社会教育課 との間で、両教育会議など 令和6年度) 一 評価 と図と を図える。 2年6月に開
か課後児童クラブ事業の実施・意見交換の協議・意見交換の 令和2年度目標	連携 を題や機 指 値 ・ コ催 ・ コ催 ・ コ	する 方 まこと 市いのし 長で大きで 根拠 令 もの いでより に決し とブ お後子 もの いでより	乗 事業概要及び 事業概要及び 不局と、学校や においている情報では、 一次などにおける情報では、 「中国では	実後後を、のりりり <td>でに係る関係部門 の方向性 子ども教室を所管する 設議を調整の解決に を値(平成30年度) 一 令和2年度進掘 するにより、、教室 できませんでし ことができませんでし</td> <td>教育委員会 ものます。 目標値(一 歩率 後運営の充実 たが、令和</td> <td>社会教育課 との間で、両教育会議など 令和6年度) 一 評価 と図と を図える。 2年6月に開</td>	でに係る関係部門 の方向性 子ども教室を所管する 設議を調整の解決に を値(平成30年度) 一 令和2年度進掘 するにより、、教室 できませんでし ことができませんでし	教育委員会 ものます。 目標値(一 歩率 後運営の充実 たが、令和	社会教育課 との間で、両教育会議など 令和6年度) 一 評価 と図と を図える。 2年6月に開

118 特別な配慮を	必要とする児	童への対応に関	するカ	方策	担当課	保育課 社会教育課
		事業概要及び	今後の			
過ごすことができる	が課後の居場所の が接な連携を図ると ○間で相互に話しる	D確保について検 ≤ともに、当該児 合い、必要に応じ	討する。 童の状況 、専門村	況等を学校関係者と 機関や関係機関と連	放課後児童 携し、児童	クラブ及び放
	指標		現状値	I(平成30年度)	目標値(令和6年度)
	_			_		_
	目標値の根拠			_	_	
令和2年度目標	票値 令精	和2年度実績値		令和2年度進捌	率	評価
		_		_		_
実施予定内容	とで、虐待やいし		するよ	後子ども教室とで相 うに努め、専門機関		
実施内容	発達障害のあるり 対応を行いました			護者との面談や学校	とも連携し	ながら必要な
予算/決算		г	令	和2年度		
1 31 / // \ 31	予算額	_	千円	決算額	-	- 円
118 特別な配慮を	上必要とする児!				担当課	保育課 社会教育課
118 特別な配慮を	必要とする児	童への対応に関 事業概要及び			担当課	
虐待やいじめを受 過ごすことができる	とけた児童や、言語 が課後の居場所の 形接な連携を図ると 可で相互に話しる	事業概要及び 善能力が十分でな ごともに、当該児 ごともに、必要に応じ	今後の い児童 [×] 計する [×] 、専門村	方向性 など特別な配慮を必 ものです。 况等を学校関係者と 機関や関係機関と連	要とする児 放課後児童 携し、児童	社会教育課 童が安心して クラブ及び放
虐待やいじめを受 過ごすことができる 学校や家庭との密 課後子ども教室との	とけた児童や、言語 が課後の居場所の 形接な連携を図ると 可で相互に話しる	事業概要及び 善能力が十分でな ごともに、当該児 ごともに、必要に応じ	今後のごい児童パントリースを い児童パントリースを では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	方向性 など特別な配慮を必 ものです。 况等を学校関係者と 機関や関係機関と連	要とする児放課後児童携し、児童	社会教育課 童が安心して クラブ及び放
虐待やいじめを受 過ごすことができる 学校や家庭との密 課後子ども教室との	をけた児童や、言語 放課後の居場所の 接な連携を図ると 間で相互に話しる 行や活動場所の確保	事業概要及び 善能力が十分でな ごともに、当該児 ごともに、必要に応じ	今後のごい児童パントリースを い児童パントリースを では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	方向性 など特別な配慮を必 ものです。 況等を学校関係者と 機関や関係機関と連 援及び療育を進めま	要とする児放課後児童携し、児童	社会教育課 童が安心して クラブ及び放 の放課後等の
虐待やいじめを受 過ごすことができる 学校や家庭との密 課後子ども教室との	をけた児童や、言語 放課後の居場所の 接な連携を図ると 間で相互に話しる 行や活動場所の確保	事業概要及び 善能力が十分でな ごともに、当該児 ごともに、必要に応じ	今後のごい児童パントリースを い児童パントリースを では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	方向性 など特別な配慮を必 ものです。 況等を学校関係者と 機関や関係機関と連 援及び療育を進めま	要とする児放課後児童携し、児童	社会教育課 童が安心して クラブ及び放 の放課後等の
虐待やいじめを受 過ごすことができる 学校や家庭との密 課後子ども教室との	をけた児童や、言語 が課後の居場所の 話接な連携を図ると 間で相互に話した 所や活動場所の確保 指標 一 目標値の根拠	事業概要及び 善能力が十分でな ごともに、当該児 ごともに、必要に応じ	今後のごい児童パントリースを い児童パントリースを では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	方向性 など特別な配慮を必 ものです。 況等を学校関係者と 機関や関係機関と連 援及び療育を進めま	要とする児 放課後児童 携し、 目標値(社会教育課 童が安心して クラブ及び放 の放課後等の
虐待やいじめを受過ごすことができる 学校や家庭との密 課後子ども教室との 安心・安全な居場所	をけた児童や、言語 が課後の居場所の 話接な連携を図ると 間で相互に話した 所や活動場所の確保 指標 一 目標値の根拠	事業概要及び 語能力が十分でな の確保について検 ともに、当該児 合い、必要に応じ 呆を図り、児童の	今後のごい児童パントリースを い児童パントリースを では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	方向性 など特別な配慮を必ものです。 況等を学校関係者と 幾関や関係機関と連 援及び療育を進めま 「(平成30年度) ー	要とする児 放課後児童 携し、 目標値(社会教育課 童が安心して クラブ及び放 の放課後等の 令和6年度)
虐待やいじめを受過ごすことができる 学校や家庭との密 課後子ども教室との 安心・安全な居場所	をけた児童や、言語 放課後の居場所の 密接な連携を図ると 所や活動場所の確保 指標 	事業概要及び 語能力が十分でなりではいい。 当には、関係者等と	今後の ごい計量、育 の	方向性 など特別な配慮を必ものです。 祝等を学校関係者と連 機関や関係機関と連 接及び療育を進めま 「(平成30年度) 一 令和2年度進捗 有を図り適切な対応	要とする児 放課後児 電童 目標値(- 5率 に努めます	社会教育課 童が安心して クラブ及等の 令和6年度) 一 評価
虐待やいじめを受過ごすことができる 学校や家庭との密 課後子ども教室との 安心・安全な居場所	をけた児童や、言語 放課後の居場所の 搭接な連携を図話しる 所や活動場所の確保 指標 目標値の根拠 票値 令種 放課後子ども教室 学校関係者、放課係 慮を必要とする児	事業概要及び 語能力が十分でなたのでは、 実にといい、 当にはのののでは、 要児童のののでは、 関係者等とをのが、 関係者等とをのが、 関係者等とのでは、 関係者等とのでは、 関係者等とのが、 関係者等とのが、 対象のでは、 は、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象の	今後の い計童、育 現状値 精 改いどん で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	方向性 など特別な配慮を必むのです。 祝等を学校関係者と連 機関及び療育を進めま ((平成30年度) 一 令和2年度進物 一 有を図り適切な対応 ども教室担当者の間で な居場所とがある。	要とする。 要とする。 世後、 世後、 目標値(「一本本 は、 情報保証 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	社会教育課 童が安心して クラ放課後等の 令和6年度) 一 評価 ー 評価 ー 非を進めて このい。 では、 このでは、 では、 では、
虐待やいじめを受 過ごすことができる 学校や家庭との密 課後子ども教室との 安心・安全な居場所 令和2年度目標 一 実施予定内容	をけた児童や、言語 放課後の居場所の 接接な連携を図話して 所や活動場所の確保 指標 「標値の根拠 標値の根拠 標値 放課後子ども教室 が課後子とも教室 が課後子とも教室 が課後子とも教室	事業概要及び 語能力が十分でなたのでは、 実にといい、 当にはのののでは、 要児童のののでは、 関係者等とをのが、 関係者等とをのが、 関係者等とのでは、 関係者等とのでは、 関係者等とのが、 関係者等とのが、 対象のでは、 は、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象のでは、 対象の	今後の い計童、育 現状値 精 改いどん で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	方向性 など特別な配慮を必むのです。 祝等を学校関係者と連接及び療育を進めま (平成30年度) 一 令和2年度進物 一 有を図り適切な対応 と述る場所や活動場所の自体の開催が少なかっ	要とする。 要とする。 世後、 世後、 目標値(「一本本 は、 情報保証 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	社会教育課 童が安心して クラ放課後等の 令和6年度) 一 評価 ー 評価 ー 非を進めて このい。 では、 このでは、 では、 では、

119 地域の実情に応じた放課後児童クラブの保 取組					時間の延長に係る	担当課	保育課	
事業概要及び今後の方向性								
現在、放課後から19時まで(土曜日や夏休みなどは7時30分から19時まで)となっている放課後児童クラブの開所時間の延長について、検討するものです。 平成31年4月から保育時間を18時30分から19時に延長し、保育サービスの向上を図っておりますが、今後においても、利用者ニーズや延長の効果などを総合的に勘案し、本市の実情に応じた開所時間を定めていきます。								
指標			現状値(平成30年度) 目		目標値	(令和6年度)		
_				_		_		
目標値の根拠			_					
令和2年度目標値		令和2年度実績値			令和 2 年度進捗	字 評価		
_								
実施予定内容	保育時間の延長について、アンケート調査などで利用者のニーズを把握していきます。							
実施内容	に努めるとともに、適切な保育時間となるよう検討していきます。							
予算/決算	令和 2 年度							
了 昇 / 八 昇	予算額 —			千円 決算額		— 円		
120 放課後児童クラブの役割をさらに向上させ と、利用者や地域住民への周知を推進させ				+71	· / + + - + /-			
'20 と、利用者や	5地域住	民への	割知を推進させ	せるだ	ための方策	担当課	保育課	
と、利用者や			司知を推進させ 事業概要及び	せる7 今後	ための方策 の方向性			
放課後児童クラブ え、子どもの自主性 援の内容について、 放課後児童クラブ おり等を通じた社会 場」として、民間サ	が社会者では、 がかれる。 がかれる。 でいる。 がいれる。 でいる。 でい	「などは」というというというというとの住を選手を発展している。 これを はいま これ	司知を推進させ 事業概要及び 事業体性を向主体を の主体性の向を といっのにに応じる といって といって といって はいって はいって はいって はいって はいって はいって はいって は	さるが 今後 し目てい的業得	ための方策 の方向性 子どもの健全な育成を すととのでは、放課後児 くものです。 ため、基本がで生活るで 実施や利用者こなど、 行事を実施するなど、	図る」と 童クラブ 慣や異年 遊びの場。 捉えたサ	ハう役割を踏ま こおける育成支 齢児童等との交 、「生活の ービスを提供し	
大利用者や 放課後児童クラブ え、子どもの的主性 援の内容についうラミ性 接の特を通じた代 力り等を通じた民間サ おります。また、クラブ	が社会者では、 がかれる。 がかれる。 でいる。 がいれる。 でいる。 でい	「子どの住きというというというというというというというというというというというというというと	司知を推進させ 事業概要及び 事業体性を向主体を の主体性の向を といっのにに応じる といって といって といって はいって はいって はいって はいって はいって はいって はいって は	今後 し目でい的業得り	ための方策 の方向性 子どもの健全な育成を すととのでは、放課後児 くものです。 ため、基本がで生活るで 実施や利用者こなど、 行事を実施するなど、	図る」と 童クラブ 慣や異年 遊びの場 捉えたサ 地域とも	ハう役割を踏ま こおける育成支 齢児童等との交 、「生活の ービスを提供し	
と、利用者や 放課後児童クラブ え、子どもの内容についうラ主性 援の内容についうラント 放課後通じた社会 わり等を通じた民間サ ます。また、クラブ	がや社用有のビ動利が性一活利	「子どの住きというというというというというというというというというというというというというと	司知を推進させ 事業概要及び 事業体性を向主体を の主体性の向を といっのにに応じる といって といって といって はいって はいって はいって はいって はいって はいって はいって は	今後 し目でい的業得り	ための方策 の方向性 子どもの健全な育成を すととのです。 くものです。 ため、基本的で生活る 遊びや生活ができるズを 実施や利用するなど、 す。	図る」と 童クラブ 慣や異年 遊びの場 捉えたサ 地域とも	いう役割を踏ま こおける育成支 齢児童等との交 、「生活の ービスを提供し 車携を取った育	
と、利用者や 放課後児童クラブ え、子どものい容についう が課後児童クラブ性 援の内容についう が課後児童として、ブラシ 場」として、スクラン 場」とます。また、クランで 成支援を行うことで	がや社用有のビ動利が性一活利	「などはというでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	司知を推進させ 事業概要及び 事業体性を向主体を の主体性の向を といっのにに応じる といって といって といって はいって はいって はいって はいって はいって はいって はいって は	今後 し目でい的業得り	ための方策 の方向性 子どもの健全な育成を すととのです。 くものです。 ため、基本的で生活る 遊びや生活ができるズを 実施や利用するなど、 す。	図る」と 童クラブ 慣や異年 遊びの場 捉えたサ 地域とも	いう役割を踏ま こおける育成支 齢児童等との交 、「生活の ービスを提供し 車携を取った育	
と、利用者や 放課後児童クラブ え、子どものいう自主で 接の内容についうラブ性 接の内容に見重した社 り等を通じた社間 として、クラン ます。またうことで	がや利が性一活が、 おも代表では一活が、 おおりのでは一点がは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのではいいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのではいいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのではいいいのでは、 はいのではいいいのではいいいのではいいのではいいいのではいいいのではいいいのではいいいいのではいいいのではいいいのではいいのではいいのではいいのではいいではいい	「な地役、をいや 子どの住を達用、域 根拠	司知を推進させ 事業概要及び 事業体性を向主体を の主体性の向を といっのにに応じる といって といって といって はいって はいって はいって はいって はいって はいって はいって は	今後 し目でい的業得り	ための方策 の方向性 子どもの健全な育成を すととのです。 くものです。 ため、基本的で生活る 遊びや生活ができるズを 実施や利用するなど、 す。	図る」と 関クラブ 慣や異年 遊捉域 世様びえとも 目標値	いう役割を踏ま こおける育成支 齢児童等との交 、「生活の ービスを提供し 車携を取った育	
と、利用者や 放課後児童クラブ え、子どものいう主性 援の内容に電クラヹ性 接の内容に見重して、 放課後見道に民間 として、、クラと ます。まを行うことで	がや利が性一活が、 おも代表では一活が、 おおりのでは一点がは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのではいいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのではいいいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいのではいいいのでは、 はいのではいいいのではいいいのではいいのではいいいのではいいいのではいいいのではいいいいのではいいいのではいいいのではいいのではいいのではいいのではいいではいい	「な地役、をいや 子どの住を達用、域 根拠	割知を推進させ 事業概要及び の主体性の主体を向をといる。 の主層の知力では、 の主層の知力では、 の主層の知力では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	今後 し目でい的業得り	ための方策 の方向性 子どもの健全な育成を すととのでは、 ないでする。 ためでは、 を必ずを 手ができるができるがで 実施や利用者 で 大がでや 大を 大 を 大 を 大 と で 大 と の で を 、 、 を と の で も の 、 を と の で も の 、 を と の で も の で も の で も の で も の で も の で も の で も の で も の で も 、 う に う に う と う 、 し 、 し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し	図る」と 図を 関を 関や 関の で 関が で に は は は は は は は は は は は は は	いう役割を踏ま こおける育成支 齢児童等との交 、「生活の ービスを提供し 車携を取った育 (令和6年度)	
と、利用者や 放課後児童クラブ え、子どものいう自主で 接の内容についうラブ性 放課後児童として、ブラションを がままでは、 として、クランで は支援を行うことで	がや利が性一活、 有社用有のビ動利 す会者す取スに用 指 値 管値 電管	「な地役、をいや 子どの住を達用、域 や 根拠 ・ や は り と り と り と り と り と り と り と り も り も り も	割知を推進させ 事業概要及び 事業概要及び 可主体を向をといる。 のも一のににさののににさいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	さう後、指いくなのたま 現り 交え	ための方策 の方向性 子どもの健全な育成を すととのでは、 ないでする。 ためでは、 を必ずを 手ができるができるがで 実施や利用者 で 大がでや 大を 大 を 大 を 大 と で 大 と の で を 、 、 を と の で も の 、 を と の で も の 、 を と の で も の で も の で も の で も の で も の で も の で も の で も の で も 、 う に う に う と う 、 し 、 し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し 。 し	図童 世が近地 目標値 - ** 次 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変	ハう役割を踏ま こおける育成支 齢児童等との交 、「生活ので ービスを現した育 (令和6年度) ー	
放課後児童クラブ性 放課後児童クラデ性 を見かりとものいうでは が課後の内容にでいる が課後が見いでは、 が課後を通じ、 がいますがでいる。 をしますができる。 を和2年度目標 一	がや利が性一活、 有社用有のビ動利 す会者す取スに用 指 値 管す ナ	「な地役、をいや根者こに指子ど域割発活て地ととお定どの住を達用、域令協でい管	割知を推進させ 事業概要及び 事業概要を向をされる。 のりへら階にものへのににさのへのににさのへのににさのの周 中度 地後 生産 地後 生産 は児 活電 に工生の は果者の は果者の は果者の はまま に工生 は に エー は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	する後 、指いくなのたま 現1 交ブるの制	ための方策 の方向性 子どもの健全な育成を すととの健全な育成を すととので基本がでは、 ためでや利用者するなど、 大値(平成30年度) 一 令和2年度進捗 た様々な事業を企画し	図童 慣遊捉地 目標値 - ** 「	いう役割を踏ま こおける育成を 静児童等活成の 一、ビスを 一、ビスを 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で ー・ビスを で ー・ビスを で ー・ビスを で ー・ビスを で ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	
放課後ものでは、 放課後ものでするでは、 が課後ではいます。 大学をにいます。 大学をでは、 がはいますがででは、 大学をしままででする。 大学をしままででする。 一学をのでする。 本ののでは、 本のでは、 でのできる。 でのでのできる。 でのでのでのできる。 でのできる。 でのでのできる。 でのできる。 でのできる。 でのでのできる。 でのでのできる。 でのでのできる。 でのでのでのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのでのでのできる。 でのでのできる。 でのでのできる。 でのでのでのでのでのででのでのできる。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	がや利が性一活、 有社用有のビ動利 有会者す取スに用 指 値 定施 ロな る性やる得等お者 標 の 理る 禍、	「な地役、をいや根者こに指子ど域割発活て地ととお定どの住を達用、域令協でい管	割知を推進させ 事業概要及び 事業概要を向をされる。 のりへら階にものへのににさのへのににさのへのににさのの周 中度 地後 生産 地後 生産 は児 活電 に工生の は果者の は果者の は果者の はまま に工生 は に エー は に は に は に は に は に は に は に は に は に は	する後 、指いくなのたま 現1 交ブるの制	ための方策 の方向性 子どもの健全な育成をすととの健全な育後児子ととの、本がでは、かな生き一ながでにながでになるがでにないがでにないがでにないがでにないがでにないがでにないがでにないがある中でも、Z00M	図童 慣遊捉地 目標値 - ** 「	いう役割を踏ま こおける育成を 静児童等活成の 一、ビスを 一、ビスを 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で 一・ビスを で ー・ビスを で ー・ビスを で ー・ビスを で ー・ビスを で ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	